

4. 子どもがのびのび育つまち 富田林

(3) 小学校から英語教育に親しむために

- ① 大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラムDREAMについて
- ② DREAMの活用の現状について

【答弁】

①、②は関連しますので、併せてお答えさせていただきます。

英語教育に関しましては、平成26年に文部科学省の有識者会議からグローバル化に対応した英語教育改革の大枠に関する提言が示され、現在、国全体で小・中・高等学校における英語教育の改革が進められているところです。

とりわけ、小学校の英語教育につきましては、次期学習指導要領により早期化と高度化が図られる予定です。具体には、現在、5・6年生で実施している週1時間の「外国語活動」が3・4年生での実施となり、5・6年生では英語が新たに教科化され、週あたりの授業時数は2時間に増加し、学習内容も高度化いたします。

国際的コミュニケーション言語としての英語の重要性がますます高まる中で、本市では、英語教育のより一層の充実を図るために、府内でも先駆けてALTの派遣を始め、段階的に拡充に取り組んで参りました。

現在、11名のALTをすべての幼小中学校に派遣しておりますが、今後、このような支援人材の充実とあわせて、子どもたちが英語に慣れ親しめるよう、教材整備も進める必要があると認識しているところです。

議員ご提案の「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラムDREAM」につきましては、朝学習など15分程度の短時間学習における使用を想定し、繰り返し英語に触れることで、自然と英語が身につくように工夫されたDVD教材となっております。内容といたしましては、英語のアニメを見聞きしながらネイティブの正確な発音に触れたり、英語の歌を一緒に歌ったりすることで、楽しく学習が進められるようになっております。

しかしながら、現在、各小学校におきましては、朝学習の時間に読書活動や国語・算数などの基礎学力を高める取組みを実施しているという現状もあり、また、全校導入には多大な予算が必要となるため、今年度は研究用としてDREAMを1セット購入し、外国語教育の研究委嘱小学校において、活用に関する研究に取り組んでいるところであります。

また、今後、文部科学省からは、小学校英語教育用の新しいデジタル教材が配付される予定もありますことから、内容や使い易さ、費用と効果などについてDREAMとの比較検証を行い、富田林市の子どもたちにとって、より効果的に学習を進めることができる英語学習教材について、引き続き研究を進めて参りたいと考えております。